



令和2年度 徳島大学病院 プログラム説明会（初期研修・専門医研修）

2019年6月29日(土) 大塚講堂にて医学生・初期研修医を対象にプログラム説明会を行いました。第一部では、まず2020年度から適用される医師臨床研修制度の見直しに合わせ改定をおこなった徳島大学病院の新たな臨床研修プログラムに関し説明を行った後に、全国の様々な協力病院にて研修を行った本院の2年次研修医の中でAWAすだちプログラムから5名(たすき掛けて徳島市民病院・愛媛県立中央病院・高松赤十字病院・高松市立みんなの病院・高知赤十字病院・枚方公済病院・日本医科大学付属病院にて研修)、メディカルゾーン重点研修プログラムから2名(徳島県立中央病院・徳島赤十字病院・徳島県立三好病院・阿南医療センターにて研修)、そして当院にて2006年度に初期研修を行った卒後臨床研修センターの河北直也特任助教(呼吸器外科所属)・徳島県立中央病院・上那賀病院にて研修の計8名でパネルディスカッションを行い、研修病院の選び方や研修生活上の注意点など、研修を行う上で参考になる内容に関し討論を行いました。

第二部では、徳島大学病院・協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。徳島大学からだけでなく他大学も合わせて61名の学生さんにお越し頂き盛会となりました。来年度から医師臨床研修制度が改定になることから、マッチングを身近に捉えた5・6年生だけでなく、まだ臨床医学の勉強中である3年生や4年生も多数参加していました。来場された皆様全員と来年の春から徳島大学病院で共に働けるようになることを願いつつ、学生さんや初期研修医の皆様により良い研修プログラムや研修環境を提供できるようこれからも努力して参ります。



第一部 初期研修プログラム説明



第一部 パネルディスカッション



第二部 ブース説明



第二部 ブース説明



懇親会(飯本会)

学生・研修医のための キャリアデザインセミナー

2019年8月27日(火) 日垂メディカルホールにて、厚仁会の御支援の下、キャリア形成支援センターとの共催で学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催致しました。今年も各分野でご活躍されている3名の先生方へ、ご自身の医師としてのキャリア形成について御講演を頂きました。講演終了後は引き続きレストランSoraにて懇親会を行いました。医師としてのキャリアを形成する上での参考になればと思います。御講演をお引き受け頂きました3名の先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

- 医療法人かさまつ在宅クリニック
理事長 笠松 哲司先生
「キャリアデザイン30年」
- 徳島大学病院 リハビリテーション部
特任講師 佐藤 紀先生
「ライフステージに応じたキャリアデザイン」
- 徳島大学大学院 医師薬学専攻部 医療教育学分野
特任助教 松井 尚子先生
「臨床医におけるセレンディピティ」



かさまつ在宅クリニック理事長 笠松 哲司先生



Soraでの懇親会

令和2年度の徳島大学病院の卒後臨床研修が、いよいよ新人研修医を迎え、始まります。本院の研修は極めて自由度の高い魅力的なプログラムを提供しているのが特徴です。卒後臨床研修センターは、研修医の皆さんと共に、希望する研修スタイルを組み立てながら将来のキャリアプランを実現できるよう県内外協力病院、診療科の先生方と密に連携、相談しています。研修医の皆さんも情熱を持って、医師の基本的な心構え、必要な知識と技術、チーム医療の中での果たすべき役割をしっかりと身につけてください。その先に専門とする診療科や医師としての長い道のりが描かれるものと思います。

現在の医療は、これまで以上に地域との連携や医師の働き方が問われる時代になりました。皆さんが研修の楽しさを実感し、時代に求められる医師として成長できますよう、本センターを中心に本院職員が全力でサポートいたします。



病院長 香美 祥二

研修医教育講座& スキルアップセミナー(メディカルゾーンセミナー)

卒後臨床研修センターでは、各診療科の先生方にご協力頂き、それぞれ年10回の研修医教育講座とスキルアップセミナーで実臨床に役立つ知識や手技の教育を行っております。何れの回も当院の研修医だけでなく、学生・院内他科医師・他院からの初期研修医や先生方を含め、20~60名の参加者があり、熱気のある会となっております。

昨年度に引き続き、本年度も内2回を徳島県立中央病院と合同のメディカルゾーンセミナーとして開催しております。今年度第1回目のメディカルゾーンセミナーは、2019年9月3日(火)に日垂メディカルホールにて開催し、徳島県立中央病院と徳島大学病院より、徳島大学病院 リハビリテーション部 加藤 真介先生には「がん診療連携拠点病院におけるリハビリテーション医療」について、また徳島県立中央病院 外科 森 勇人先生には「生忘れられない1例~救急医になろうと思っていなかった私が救急医になった理由~」についてご講演を頂きました。

御協力頂いております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げますと共に、来年度以降に関しましても御協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

また、月2回、卒後臨床研修センター講義室にてネイティブの講師を招き英会話教室を開催しております。参加は自由ですので医学部の学生さんや指導医の先生方も奮ってご参加下さい。



心エコー実習



胸腔穿刺実習



上部消化管内視鏡実習



包帯・ギプス・シーネ実習



第1回メディカルゾーンセミナー



第1回メディカルゾーンセミナー

医療のエキスパートをめざして! - キャリアデザインセミナー -

2019年11月29日(金) 医学科4年生の講義の一環として、「医療のエキスパートをめざして! - キャリアデザインセミナー」を開催致しました。福山大学生命工学部生命栄養科学科教授で中国四国厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査専門員の田中 信一郎先生に2020年度からの医師臨床研修制度の見直し内容について御講義を頂きました後に、ワークショップを行い多彩なキャリアを経験されている各科の指導医の先生方や初期研修医のキャリア形成に関し他己紹介の形式でグループ発表をして頂きました。この講義を通じ学生さんの今後のキャリアの選択肢が広がると共に、学生さんと指導医・研修医が互いに知り合うことでこれから始めるクリニカルラックアップが実りあるものになればと考えています。



福山大学教授 田中 信一郎先生



ワークショップ(グループ発表)

研修医紹介 現在、徳島大学病院で研修中の研修医

1年次研修医

青井 優 多田 航生 佐藤 功志
川原 綾香 記本 明静 伊藤 達宏
岸田 盛吾 吉本 貴志 田中 真波
酒井 遥介 岩佐 みゆき

2年次研修医

井口 裕貴 島本 枝里伽 宮上 慎司
磯村 祐太 南城 和正 浅井 孝仁
矢野 由夏 藤井 祥平 青木 秀憲
木田 貴弘 堀 祥昌

前回のニューズレター発行後に徳島大学病院に戻ってきた研修医です。



あなま まりか
安宅 真利花 (1年次)
徳島赤十字病院から戻ってきました。外で学んだことを活かして精一杯がんばります。



もりわ しん
森脇 進 (1年次)
全ての知識と技術を身につけることは不可能なので、初期対応と全身管理ができるようにがんばります。



うらば かいと
海人 (2年次)
研修期間も残り少なくなってきましたが、変わらず日々頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



かねこ ようすけ
金子 遥祐 (2年次)
10月から大学での研修を再開しています。残り短い期間ですが、精一杯研修させていただきます。



くにしげ みちひろ
國重 道大 (2年次)
患者様に寄り添って医療を行える医師になれるよう今後も精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



たはた ゆりこ
多幡 有莉乃 (2年次)
5ヶ月ぶりに戻ってまいりました。残りの研修期間も有意義なものにできるように日々精進してまいります。



たむら こう
田村 公 (2年次)
連携病院での研修を経て、ようやく徳島大学病院で着いて研修を行うことができました。不慣れな点も多いですがよろしくお願ひいたします。



まつだ ひろや
松田 宙也 (2年次)
患者さんに「徳島大学病院でみてもらって良かった。」と思っただけのよう、がんばります。



もり あずさ
森 あずさ (2年次)
3年目に向けて必要な知識・技術の習得に努めたいです。常に感謝の気持ちを忘れずに日々頑張ります。



しのはら あやか
篠原 文香 (2年次)
10ヶ月ぶりに大学に帰ってまいりました。残り少ない研修を充実したものにするべく精進したいと思います。



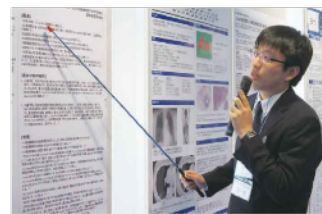
こんどう ひろたか
近藤 広宗 (2年次)
研修生活も残り半年をきりましたが、初心を忘れず一日一日を大切に邁進していきたいと思ひます。



なかむら まさひろ
中村 昌史 (2年次)
徳島大学病院のスタッフとして患者様の健康のために尽力していきたいと思ひますので宜しくお願い致します。

徳島医学会学術集会

2019年8月4日(日)に徳島県医師会館にて第259回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方に熱心に御指導頂き、2年次研修医3名、1年次研修医7名の計10名の研修医が発表を行いました。熱心に御指導頂きました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



医員募集

令和2年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、令和2年度の医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

令和2年度の医員募集の概要	条件
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
知遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.089-633-7018 Fax.089-633-7474
募集の締め切り	令和2年1月10日(金)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.089-633-9978 Fax.089-633-9543 E-mail: bcareen@tokushima-u.ac.jp http://www.careercenter-dr.jp/index.html

県外広報

2019年6月23日(日) 東京、7月7日(日) 大阪、9月22日(日) 名古屋にてレジナビフェアが、10月13日(日) 小倉にてeレジナビフェアが開催され、徳島大学病院も徳島県臨床研修連絡協議会の一員として県内の様々な臨床研修病院の指導医の先生方や初期研修医と共に参加致しました。徳島県出身の方が主ではありましたが、多数の学生さんに来場頂き本当に有難う御座いました。



レジナビフェア大阪



レジナビフェア東京

徳島大学病院 研修医奮闘記

「初期研修を振り返って」

2年次研修医 南城 和正 先生

(AWAすだちプログラム:徳島大学病院・吉野川医療センター・上那賀病院・高知医療センターにて研修)

早いもので研修生活も残り半年となりました。研修開始からもう1年半経っていることに非常に驚いています。

私の研修生活は高知県の高知医療センターからスタートしました。高知医療センターでは救急科や外科系診療科を中心にローテーションさせていただきました。高知医療センターは高知県全域から(時には徳島県からも)軽症～重症まで様々な患者が搬送される三次救急病院であり、研修医が自ら考え行動することも非常に多く、充実した日々を送らせていただきました。また、同期にも思われ仕事もプライベートも本心に楽しい毎日でした。1年目の初めの頃は何もわからず、手技も十分にできないため迷惑をかけることも多々ありましたが、指導医の先生方やスタッフの方々に時に優しく時に厳しく指導していただき、少しずつ成長できたように思います。今になって思えば、高知で学んだことが今の自分の基礎になっているように感じます。高知県は緑もゆかりもない土地でしたが、勇気を出して徳島から飛び出して本当によかったと思っています。高知医療センターの他にも、上那賀病院で地域医療を、吉野川医療センターで内科全般を研修させていただきました。現在は徳島大学病院で、3年目以降の進路に合わせた診療科をローテーションさせていただいています。

徳島大学の初期研修プログラムは県内外の様々な施設で研修することができます。施設が変わることで環境に慣れるという意味では大変な部分もありますが、一つの施設ではなく様々な施設で働くことで、多様な考え方や視点を得ることが出来ます。それが、徳島大学病院のプログラムの一番の強みではないかと思っています。

いざこのように筆を取り研修生活を振り返ってみると1年半前の自分よりは一回り成長できているのではないかなと思っています。研修生活も残り少しですが、もう一回り成長できるよう日々精進していきたいと思っています。



上部消化管内視鏡検査の練習を行う練習室

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ(<http://www.tokudai-sotsugo.jp>)にアクセス頂けますと幸いです。

■ニューズレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒後臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
山口 浩司 yamakoji3@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

腎臓内科

(科長 長井 幸二郎)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医：総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 長井 幸二郎 knagai@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

神経内科

(科長 和泉 唯信)

神経内科はcommon disease(頭痛、しびれ、脳卒中、認知症など)から難病(筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン症候群など)まで幅広い疾患を対象にします。現在は多くの疾患が正確に速く診断できるようになり治療法も長足の進歩を示しています。徳島大学病院においては都市部の病院に比べてこれらの疾患群を偏りなく診療することができ、専門医の高合格率にも定評があります。また海外・国内への留学実績も豊富です。



連絡先 松井 尚子 naoko@tokushima-u.ac.jp
藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な術前治療と術前準備、確実に治すための手術選択、このもった術前術後の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、その技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい、そんな熱く、優しいハートを持った医師を歓迎します！」



連絡先 吉田 光輝 mitsuteru@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

当科は全国に通用する一流の外科医の育成環境が整っています。肝胆膵領域では高難度手術・生体肝移植を行っており、徳島唯一の高度技能研修施設A指定を受け、高度技能専門医は5名で全国トップクラスです。消化器領域では5名の内視鏡外科技術認定医が胃鏡・大腸鏡手術の執刀・指導を行います。また、ロボット手術、肥満に対する減重手術、直腸癌に対する経肛門手術(TaTME)を積極的に行っています。若手の執刀も多く、最速での各専門医取得が可能です。



連絡先 西正 純 nishi.masaaki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌や間質性肺炎の治療・臨床試験に積極的に参加し、膠原病でも県内で中心的役割を果たしています。国内外の留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 河野 弘 hk25@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
https://plaza.umin.ac.jp/sanna/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン調節の臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通して、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=uni1&belong_code=4

総合診療部

(部長 谷 恵治)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目まぐるしくなっています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門医研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 大倉 佳宏 ookura.yoshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
http://www.tiiki.umin.jp/

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、嚔胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に於いて診療を行っています。肺癌手術はほぼ全完全全胸腔鏡下手術で行い、最近ではロボット支援手術も導入しています。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると考えます。興味のある方は是非ご連絡ください。

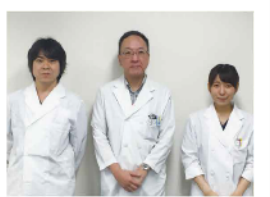


連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療：四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術：小児尿管/小児尿管に対するLPEC法、小児ヒルシュスプリング病、膵臓、GERDなどに対しては積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝癌に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 北村 晋志 shinji.kitamura@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の進行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

心臓血管外科

(科長 北市 隆)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
"Chance favors only the prepared mind!!" 次代を担うのはあなたです。



連絡先 北市 隆 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、新専門医制度に対応した診療拠点病院、教育関連施設で研修を行うため症例も多く、充実した研修が行えます。関連病院には、透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器科認定医・腎移植認定医等の subspecialty 領域の認定医取得ができます。また、泌尿器科では、ロボット支援手術を積極的に行っており、大学を含めた7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学も可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
http://tokushima-u-urology.jp

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、15人で毎日平均70人の外来患者、12人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
耕田 晋也(総務医長) hida.tetsuya@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手術の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

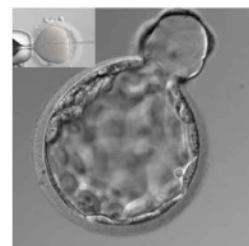


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

産科婦人科

(科長 桑原 章)

産科婦人科には生殖、産前、産後、女性医学の4診療部門があります。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生、初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 加地 剛(総務医長) tkaji@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

救急集中治療部

(部長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://sv01.inter-bus.jp/~toku_icu/

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

形成外科は、身体の組織の変形や欠損に対して、より正常に近づけることを目的とする外科系の専門領域です。当科の研修プログラムは、基本的な手術手技の習得から始まり、大学病院と連携施設で研修することで、頭頸部や乳房再建などに必要となるマイクロサージャリーの技術や、顔面骨折などの外傷、唇舌口蓋などの先天奇形の治療に必要な高度な技術以外に、美容に関するレーザー治療の技術なども習得することが可能です。



連絡先 石田 創士 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://plaza.umin.ac.jp/tokudakeisei/academic_greeting.html

精神科神経科/心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しています。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせ方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、その他の研修施設にも信頼できる指導医を要し、指導体制を充実させています。精神科医にならなければ、ぜひ徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀬 理仁 nktk@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても、多くの分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りにも努めており、そのような女性医師の出入りも歓迎です。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線9283) fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハビリテーション科は基礎診療科の中で充実率が最も低い一方、高齢化等によりますます必要な診療科です。専攻医研修は徳島大学病院を基幹とし、リハビリテーション専門の徳島病院、回復期リハビリテーション病棟や関連施設を持つ一般病院から構成され、総合的に研修できるプログラムで、2017年度から2名、2018年度から一名が研修しています。リハビリテーション医学は患者の生活に直結し、ロボットリハビリテーションなど新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤 真介 skatch@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことが出来ません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するの、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になれるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikel2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎髄膜炎に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診療、脳血管外科手術、脳血管内治療について学べるシステムを提供しています。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に付けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。



連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhisa.1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線3246) fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャリティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医員長の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と一緒に頑張りたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしています。

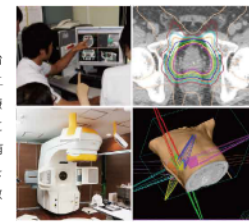


連絡先 渡辺 浩良 hwatanabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密着小線源治療システムを有し、1年間に800人以上の新規患者を受け入れている中国・四国で有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp